

令和5年度 特別支援教育目標

一人一人の子どもの実態を把握し、個に応じた適切な指導を行うことにより、社会生活の中で心豊かに主体的に生きていこうとする子どもを育成する。

ひまわり3組 学級経営案 担任 川上 美代子				評価		
自分は周囲の人と親しく関わりあっている、関心を持たれているという「交流感」や自分ではできるといふ「有能感」、どういうやり方があるのか、自分で考え決めることができる「自己決定感」を実感できるよう、一人一人が生き生きと活動できる学級づくりに努める。				1	2	3
学級重点目標	1	基本的な生活習慣を身に付けさせ、返事やあいさつができる子どもを育てる。				
	2	学校生活の決まりを守り、よりよい行動ができる子どもを育てる。				
	3	自己の課題に真摯に取り組み、分かる喜びや学ぶ楽しさを感じる子どもを育てる。				
	4	保護者との連携を図り、個のニーズに応じた支援を行う。				
学級経営の具体策	豊かな心と健やかな体	1	当番・係活動を自分の仕事と自覚し、仕事をやり遂げる成功体験を積むことができるようにする。			
		2	交流学級での役割や友達との関わりを理解し、共同・合同学習に慣れるようにする。			
		3	家庭と連携を図り、「ハチツボネブ」を習慣化させるとともに、自身の体を清潔に保つ意識を高め、基本的な生活習慣が整うことができるようにする。			
		4	自分自身や友達のよさを知り、互いに認め合い、助け合うことができるようにする。			
		5	外遊びや運動することの楽しさに気付き、友達と一緒に進んで運動することができるようにする。			
		6	校舎内での過ごし方や、不審者対応、交通安全の指導を繰り返すことで、自分の命を守る意識を高めるようにする。			
	確かな学力と個性の伸長	1	学習のリズムやシステムを構築するとともに、流れを明確にし、子どもが主体的に学習できるようにする。			
		2	子どもの実態に応じた学習に取り組むことで、学びの楽しさを実感できるようにする。			
		3	学校生活の決まりを守り、自立へ向け、自己のよさを伸ばそうとする意識をもつことができるようにする。			
	信頼される学校づくり	1	家庭訪問や連絡帳、学級 PTA 等で学校の様子を伝え、子ども・保護者・担任の思いを共有し、家庭と連携できるようにする。			
		2	個に応じた指導計画を作成することで、望ましい成長に向けて支援することができるようにする。			
		3	学校・家庭・地域のつながりに気付くことで、家庭や地域に感謝の気持ちをもつことができるようにする。			